

大淀の特産品



ぶどう

たっぷりと降り注ぐ太陽に育てられたぶどうも大淀町を代表するフルーツ。大粒な実に甘みが凝縮しています。梨と同じく旬のぶどう狩りも楽しみのひとつです。

お茶

温暖な気候と高原の風に恵まれ、良質なお茶が育ちます。江戸末期に京都宇治の製茶技術を取り入れることによって茶葉生産が発展しました。香りまでおいしい上品な飲み口です。



大淀焼

地元で取れる無垢の陶土で焼かれる大淀焼は、遠州七窯の一つである朝日焼の系譜を継いでいます。自然を感じる優しい風合いが感じられ、日常の食卓になじみます。

梨

果樹園が集まる大阿太高原では梨栽培が盛んです。主力は二十世紀、幸水、豊水。特に二十世紀は奈良県最大の産地で、栽培の歴史は100年以上に及びます。8月中旬～10月頃は甘くてみずみずしい、梨の収穫体験が好評です。



大淀の観光スポット

MAP A-3 泉徳寺 (今木権現堂)

天狗が両脇に抱えて飛来したと伝わる金剛力士像は見ごたえ十分。役行者の建立とされることから、古来、修験者が参拝し、旅の安全を祈願しました。山門や石仏群といった文化財も一見の価値があります。



MAP D-3 妙楽寺

室町時代創建の寺院。薬師如来坐像を本尊とし、簡素にしてぬくもりを感じる一木造の木造十一面観音立像と木造地藏菩薩立像が静かに佇んでいます。



MAP B-3 石塚遺跡

直径約30m、高さ約7mの石塚は修験道の修行に向かう行者たちが無事を願って積み上げたものだとされます。信仰遺跡として町の有形民俗文化財に指定されています。



MAP D-3 世尊寺

聖徳太子建立と伝わり、『日本書紀』にも記録された古刹です。本尊の阿彌陀如来坐像や木造十一面観音立像、聖徳太子十六才孝養像を安置し、境内には太子堂や国指定史跡の古代寺院・比曾寺跡があります。



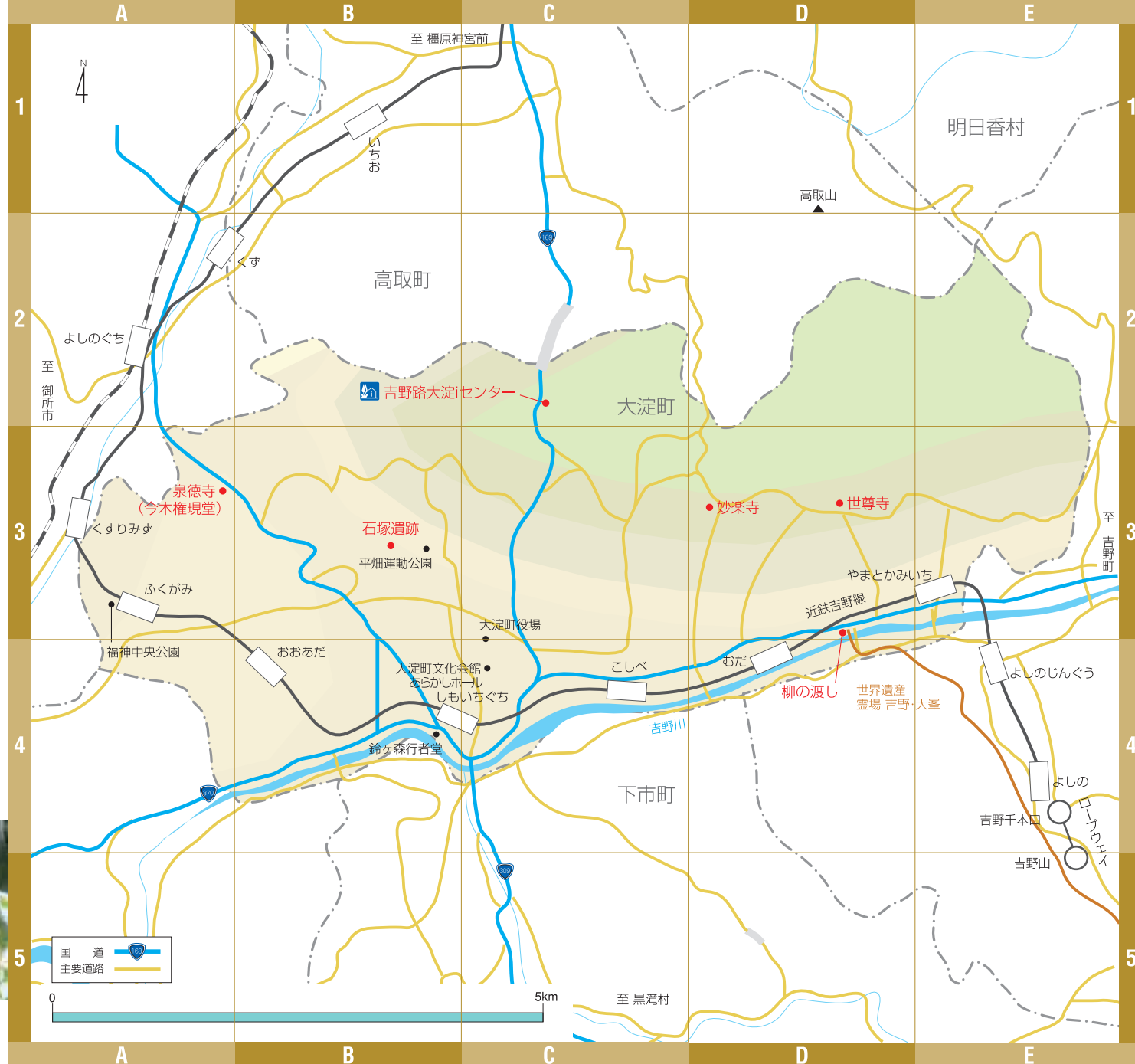
MAP D-3 柳の渡し

「かわず鳴く六田の川の川柳のねもころ見れど飽かぬ河かも」と万葉集に詠まれた吉野川と川柳の風情。大淀町北六田と吉野町六田を結んだ柳の渡しは大正8年(1919年)まで人々の暮らしを支えました。



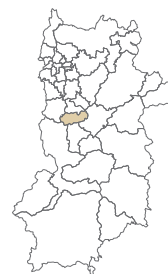
MAP C-2 道の駅吉野路大淀 i センター

国道169号沿いに見えてくる修験者の頭巾(とぎん)をイメージした屋根が目印。観光や道路情報、地元産中心の新鮮な野菜果物コーナーが充実。レストランや特産品売場には“当駅限定”の品々がそろっています。



大淀町

Oyodo Town



吉野への玄関口というロケーション
歴史とフルーツと茶葉が香る丘陵の町

大阪、京都、奈良市方面から奈良県南部を目指すとき、国道169号・309号・370号がリンクする要衝に開けているのが大淀町です。「吉野・南部への玄関口」を謳い、多くの観光客やドライブ客を温かく迎えてくれます。町の南縁を吉野川が横切り、聖徳太子や役行者ゆかりの歴史スポットも点在。丘陵地の気候と土壌を活用したフルーツ栽培が盛んで、幸水・二十世紀といったナシ、巨峰などのぶどうの生産が有名です。番茶をはじめとするお茶もブランド化が進み、全国発信されています。